

圓常寺 新聞

Vol.02

ゆるりと
不定期発行

圓常寺 秋の永代経が勤まりました

1月1日より圓常寺公式LINEははじめました。
・行事、行事写真の発信や法要日程調整などにご活用いただけます。
以下、QRコードから友達追加をお願いします。

LINE

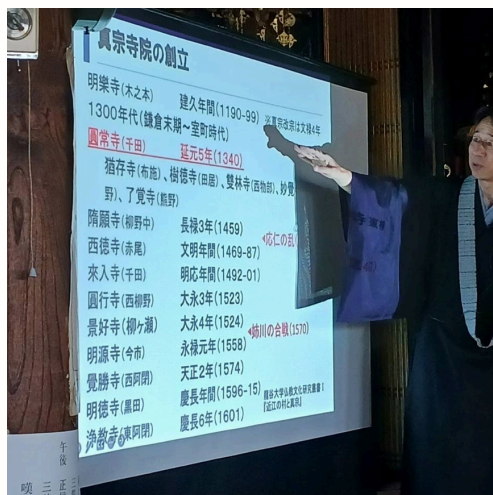


圓常寺Instagram
もあります

Instagram



2024年秋の永代経



こんにちは、圓常寺の東山です。
いつもお世話になりありがとうございます。
今年には全国的に異常な暑さを記録しておりますが、お変わりありませんでしょうか。長浜でも十月に入り、朝晩は涼しくなりましたが、日中は依然として汗ばむ気候です。
さて、第1回の発行から、時間が経ち（私の怠慢によりではございますが。）、圓常寺ではお盆の参り、秋の永代経が勤まりました。
秋の永代経では速水薫先生の「湖北に何故お寺が多いのか」というテーマでお話いただき、午後は湖北オーケストラの演奏会を開催しました。
速水先生からは圓常寺の歴史は古く、1340年に創立され、歴史あるお寺の1つであるという説明を受け、ご参加いただいた方々も皆驚いておられました。また、お寺を地域の「決めごと」の場として、戦国時代など多くの困難を団結して乗り越えてきたそうです。そのお寺と伝統が約680年経った今も残っていることに、ご門徒さんのお力を改めて感じました。「前（さき）に生まれる者は後を導き、後に生まれる者は前を訪え。」という親鸞聖人の言葉があります。それを行ってきた



昨年から境内に蓮を植えてます。
今年は10鉢まで増やしました。
来年は30鉢をめざします。

圓常寺 東山 潤

のがこ湖北の地域なのだなと思います。
私が圓常寺にきたときに、「ご門徒さんから「圓常寺の団結力はすごい」と言われたことがあります。その原点が皆で手を合わせてきた歴史なのだと感じました。
年末も近づいてきました。私は年末に近づくと今年の初めに立てた目標が達成できていないと焦りだし、そして、来年こそは！と毎年思います。親鸞聖人は「今」ということをとても大切にされてこられました。「今が大事」ということは現代の歌でも歌詞として使用される程、誰もが知っています。しかし、普段の生活の中で今だけを考えることは難しい。だからこそ、手を合わせている時だけは「私の今」を考えられるようにできればと思います。
次回発行はできる限り早く発行できるように頑張ります。



お寺で聞くオーケストラの生演奏はなんとも贅沢な時間でした。盆菓子を食べる子。



お盆のお花。ケイトウの赤が映える。綺麗にたてていただきました。お盆の写真を撮り忘れました。。。><